

まんさく

第294号

発行
特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



エンフトールさん、3年間ありがとう♪ [令和5年10月満了]

お年寄りからも職員からも信頼されてきたモンゴルのエンフトールさん、和の思い出と共に…

294号もくじ

☆2～3頁★

* 上半期検証と下半期目標
(事務課、介護・大通り)

☆4頁★

* 祝 光寿苑45周年&敬老を祝う会
* 碧祥寺報恩講参拝 * 職員募集

☆5頁★

* 想… 災害を捉える

☆6頁★

* 地域密着型事業紹介
* 寄附・寄贈・訪問等紹介

☆7頁★

* 今生より往く
* 光寿苑職員研鑽の場

☆8頁★

* 「光寿苑の日々」(4コマ漫画) * 「自然法爾」(お寺さんのお話) * 「おわりに」

令和5年度の法人キーワードは『活かす』です！

【事務】「①事務部門」 ☆氏家洋也☆

法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』					
令和5年度上半期のイメージ	テーマ	今ある環境と資源を活かす				
	理想上半期	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。</td> <td>★職員の福利厚生の上を目指す。</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。	★職員の福利厚生の上を目指す。
	目標 ①	目標 ②				
★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。	★職員の福利厚生の上を目指す。					
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	<p>①今後の業務改善のため、幅広く活用できないか模索する。</p> <p>②ICTを活用した事業所間の情報共有や連携と、職員の連絡網体制の構築を行う。</p>	<p>①今年度から始める福利厚生サービスを職員に知ってもらい、活用してもらえるよう活動する。</p> <p>②職員親睦会の円滑な運営が行えるようにサポートを行う。</p>				



令和5年度上半期検証【テーマ】	現在進行形として継続したテーマとしたい。
令和5年度上半期検証【各目標】	<p>目標① ①事業所間の情報共有のあり方を、現在具体的に検証中である。 ② 職員の連絡網体制の構築は、防災委員会と感染症対応専門チームで作成するBCP（事業継続計画）と合わせ検討する予定である。※感染症予防対策をとり、オンラインではなく、対面方式による面会をできる限り実施できており良かった。は、天候などにより良い環境では無い時もあるので、今後他の部署含め確認したい。</p> <p>目標② ①福利厚生サービスの活用は、11月に職員へ案内できる状況にあるので、今後活用に向けて啓発活動を行いたい。 ②職員親睦会については、一堂に会しての企画は難しい面があるが、感染防止対策をとりながら部署毎の懇親会も実施できている。親睦会役員の選出も進んでいるため、運営のサポートを引き続き行いたい。</p>



令和5年度下半期のイメージ	テーマ	今ある環境と資源を活かす				
	理想下半期	<table border="1"> <tr> <th>目標 ①</th> <th>目標 ②</th> </tr> <tr> <td>★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。</td> <td>★職員の福利厚生の上を目指す。</td> </tr> </table>	目標 ①	目標 ②	★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。	★職員の福利厚生の上を目指す。
	目標 ①	目標 ②				
★コロナ禍で整備した通信環境等を活かす。	★職員の福利厚生の上を目指す。					
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	<p>①今後の業務改善のため、幅広く活用できないか模索する。</p> <p>②ICTを活用した事業所間の情報共有や連携と、職員の連絡網体制の構築を行う。</p>	<p>①今年度から始める福利厚生サービスを職員に知ってもらい、活用してもらえるよう活動する。</p> <p>②職員親睦会の円滑な運営が行えるようにサポートを行う。</p>				

上半期を振り返って、下半期の目標再設定です

【生活】「⑥介護部門…大通り」 ☆菊池直樹☆

法人キーワード		令和5年度共通のキーワードは『活かす』	
令和5年度上半期のイメージ	テーマ	皆が生きるケア	
	理想上半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	<p>★互いを活かした暮らし</p> <p>①残存機能を活かす ⇒介護の世界ではあたり前の事だが、今一度基本に戻り、“手を掛け過ぎていないか” “想いに添ったケアができていないか”を見直し、心身の機能回復・維持に努めている。</p> <p>②スキルを活かす ⇒趣味や特技、前職や経験など、職員一人一人の得意分野を活かして、お年寄りの暮らし（職員は仕事）に楽しみを提供する。</p>	<p>★介護技術の向上・実践・継続</p> <p>①個々に合った介助方法の探求 ⇒昨年度知り得た情報や介護技術を活かし、お年寄りのより良い暮らしに繋げていく。</p> <p>②「基本あつての応用」を常に理解しておく ⇒ “なぜこういうやり方をしているのか？” “なぜこのやり方だとまずいのか？” …一つ一つの動作に責任を持って説明できるようにする。</p>



令和5年度上半期検証【テーマ】	<p>*知恵と工夫で、物品の工夫はできたと思う。 *人が生き生きとしているとは言えないため、もう少し離床の機会を増やす必要があった。</p>
令和5年度上半期検証【各目標】	<p>目標① ①新人職員が入った事もあり、介護技術（特に基本的な事）の再認識をする機会が多いため、今後も継続して実践に活かしていきたい。 ②下半期は、もっと趣味・娯楽の時間を設けていきたい。</p> <p>目標② ①今後も安全安楽な介助方法を探求していく。 ②目標①の「①」同様、新人職員が入った事で、より自分の言動に責任を持つ事を意識する機会が増えたと思う。続けていきたい。</p>



令和5年度下半期のイメージ	テーマ	皆が生きるケア	
	理想下半期	目標 ①	目標 ②
	具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	<p>★互いを活かした暮らし</p> <p>①残存機能を活かす ⇒介護の世界ではあたり前の事だが、今一度基本に戻り、“手を掛け過ぎていないか” “想いに添ったケアができていないか”を見直し、心身の機能回復・維持に努めている。</p> <p>②スキルを活かす ⇒趣味や特技、前職や経験など、職員一人一人の得意分野を活かして、お年寄りの暮らし（職員は仕事）に楽しみを提供する。</p>	<p>★介護技術の向上・実践・継続</p> <p>①個々に合った介助方法の探求 ⇒昨年度知り得た情報や介護技術を活かし、お年寄りのより良い暮らしに繋げていく。</p> <p>②「基本あつての応用」を常に理解しておく ⇒ “なぜこういうやり方をしているのか？” “なぜこのやり方だとまずいのか？” …一つ一つの動作に責任を持って説明できるようにする。</p>

光寿苑45周年&敬老を祝う会

去る10月15日、光寿苑45周年と敬老を祝う会を開催。西和賀民謡同好会とやよい会の皆様が舞台披露され、お年寄りたちは目を輝かせて手拍子を送っておりました♪

あいや、姉ちゃんたちの
真似っこして、めんげえ童
だごよよお〜♡



職員募集中

管理栄養士

管理栄養士資格必須

調理員

調理師有資格者は勿論、無い方も！

生活相談員

社会福祉士または社会福祉主事

介護支援専門員

介護支援専門員資格必須

お電話下さい♪ 0197-84-2526

碧祥寺報恩講参拝



10月29日

想...

災害を捉える 宮城県から発信します②

『慶念坊の精神を胸に』 白木澤 琴 氏



前回からスタートした宮城県の僧侶・白木澤琴さんより2回目のご執筆を頂きました。今回は、琴さんのお寺の源流に根づく歴史に触れて頂きました。

慶念坊の精神を胸に

当たり一面にのどかな田園風景が

広がる宮城県北部。私が生まれ育っ

たこの地では、大昔から、冷害・水

害・地震・飢饉といった、大自然の

脅威とともに人々は生きてきました。

江戸時代、飢饉ともなれば、間引

きと称して生後間もない赤子を殺め

る悪弊が、明治初期頃まで続きまし

た。この悪弊蔓延する農村地帯におい

て、幕末から明治という激動の時代、

浄土真宗の教えを命懸けで布教し、

53人もの赤子の命を救い、育てた一

人の僧侶がいました。その名を慶念

といいます。

時は幕末。文政三年（1820）、

慶念は山口村（現岩手県北上市和賀

町）に生を受けます。俗名は長兵衛。

縁あって親鸞聖人の教えに感銘を受

けた長兵衛は、家を捨て、得度（出家）

。名を慶念と改め、全国の親鸞

聖人ゆかりの地を訪ねます。帰国の

途中、宮城県北部の涌谷の地に留ま

り、布教の拠点としました。私の住

む家から車で15分ほどの場所です。

だのどか。田んぼで草とりをし

ている人がいれば一緒に手伝い、

「おれの手伝った分だけ休んで、

お話を聞いてくれ。」

と、ただ一心に、弥陀大悲の恩徳を、

法の慶かを語りました。初めのうち

は相手にしなかった人々も、だんだ

んとこの姿に心打たれ、時に感涙に

むせぶ者もいたと言います。

また、間引きの悪弊を深く憂えた

慶念は、涙しながら生命の尊さを説

き、子殺しや墮胎を思い留まらせた

と言います。しかし、どうしても子

を育てられない者がいると、慶念は

家を訪ねては子どもをもらい受け、

背負い、托鉢等しながら、男手一つ

で育てあげました。

次第に協力者が増える一方、慶念

の名を語り、悪事をばたらく者が出

始め、ついに慶念は「無実の罪」で

捕えられてしまいます。時は明治四

年六月二日（1871）のことです。

その間、慶念はお上の者は食べな

い、と断食で抗議します。約一カ月

生涯を全うしたのでした。

最期の言葉が、

「忘れるなよ念仏、忘れるなよ

念仏。」

であったと言います。多くの人が

水悲嘆に暮れ、平問者は三千とも

言われています。

慶念を突き動かしたものの、それ

はひとえに親鸞聖人の教えに出会

った慶念を、命の尊さを、大地に

生きる人々に伝えるためだったの

ではないでしょうか。また、如来

大悲の恩徳に深く謝する心か、そ

うさせたのではないのでしょうか。

慶念は、今なお「野の聖人」、

福祉の始祖」として地元の人々に

親しまれています。

慶念の死後、信徒の方々が建立

した説教所の一つが、玉蓮寺の前

進となる大柳説教所です。慶念十

き後の約二十年后、慶念が耕して

くだったお念仏の土壌に、小さ

な種が撒かれることになったので

した。

玉蓮寺

白木澤 琴

（続き）

今月の登録者の方々
15名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

今秋は行事目白押しですね♪ 「ひなたぼっこの日常」



上2枚『夜間防災訓練』

左下『お茶会・バス旅行』

右下『豆の収穫』

おかげさまでした

寄贈 ★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

- ★ 高橋 あや子 様 [野々宿]
- ★ 匿名 様 [西和賀町]
- ★ 和賀クリーニング 様 [北上市]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 梨子下 深幸 様 [上野々]
- ☆ 加藤 真喜子 様 [新町]
- ☆ 深澤 タキ 様 [太田]
- ☆ 高橋 瑠璃 様 [川尻]
- ☆ 照井 和江 様 [北上市]
- ☆ 宇留野 説子 様 [東京都]
- ☆ 西和賀町立湯田小学校 様

面会・外出 [10月1日～31日]

【対面面会】 延べ46名 (対象入居者21名)

訪問

夜間防災訓練 (10月30日)

★地域協力員・4名、西和賀消防署員3名

先月、足長おじさん
から、自転車とヘルメ
ットを戴きました♪あ
りがとうございます♡



光寿会へのご支援



明るい性格と笑い声、永遠に…♡

『今生より 往く』

高橋 ミチさん【96歳】

入居から12年、黄門様のような笑い声と、「オメもこがさいよ」と手まねきされていたミチさん。とても優しく、笑顔のかわいい方で、職員みんなの元気の源でした。本当にありがとうございました。長い間、おつかれさまでした。ミチさんを忘れたくないです。
《担当・高橋加奈恵》

光寿苑職員研鑽の場

事故防止・対応研修 11/7～8

救急救命講習 10/12



実際の入居者のひやりはっと事例を題材としてグループワークを開催。立ち上がり時や歩行時等の3つの場面を設定し、「考えられる事故」を出し合う所から開始。それらが出された所で、その想定される事故に対してどう対応したら良いかをフリーディスカッションしました。想像力高まる良き時間でした。

